東福保育園　　0歳児

年間テーマ	色
探求テーマ	ふうせんに触れて遊ぶ

2025年　9月　5日（金）

子どもの姿	・気になる玩具を見つけると歩いたり這い這いで近づき、触ってみようとする。
「問い」を考える	・いろいろな色のふうせんを見たり触れたりしてどのように遊ぶのか。
活動をデザインする	・ふうせん・布団圧縮袋に入れたふうせん
環境をデザインする	・たくさんのふうせんを用意し、自由に選んでふうせんに触れるようにする。
小グループを構成する	・保育士や友だちがいるところに近づき、玩具に触れてみようとする。
振り返り	たくさんのふうせんを出し、しばらくするとその子にとってのお気に入りのふうせんがあることに気づいた。0歳児クラスでもいろいろな色や大きさのふうせんがある中で自分の好みのふうせんがあることを知った。ふうせん単体の楽しさ、ふうせんベッドにしてからの楽しさとふうせん一つでいろいろな楽しみ方をすることができたのはよかった。次回はふうせんベッドを何個か作り、三角のトンネルにして通ってみたりと違った遊び方も楽しんでいきたいと思う。

子どもの言葉・姿	写真
・ふうせんを見つけて近寄り、触ってみようとする。 ・ゆっくり触ろうとすると離れていってしまい、追いかけて持とうとする。 ・保育士がふうせんを集めているのを見て近くに行き、ふうせんを入れようとする。 ・ふうせんベッドが出来上がり、触らずにじっと見る。 ・保育士がふうせんベッドを触ったり、乗るのを見て触ってみようとする。 ・布団圧縮袋に入ったふうせんを叩いて音が出ることを喜び、繰り返し叩くことを楽しむ。 ・友だちがやっている動きをまねしてやってみる。 ・ふうせんベッドの上に乗せてもらう。 ・保育士に揺らしてもらうことを喜ぶ。 ・自分で体を前後に揺らすと下のふうせんも一緒に揺れることが分かり繰り返し楽しむ。 ・自分から友だちの隣に座り、友だちの動きをじっと見る。 ・ふうせんベッドに慣れ、その上でうつ伏せになったり、仰向けになる。 ・床に足をつけ、ふうせんに座り、お尻でジャンプをして体が前後に揺れることを楽しむ。 ・友だちが揺れると自分も体が揺れて喜ぶ。	